

育てにくいと感じたら

講師 近藤直子先生

私は、陽光保育園に勤務して7年目になります。そのうちの6年間は時間契約職員として仕事をし、今年の4月に正規職員として新たなスタートを切りました。そして今回初めて共育講座に参加しました。会場は、70名余の参加者でいっぱいでした。

近藤直子先生の講演は関西弁混じりで、



■近藤直子先生

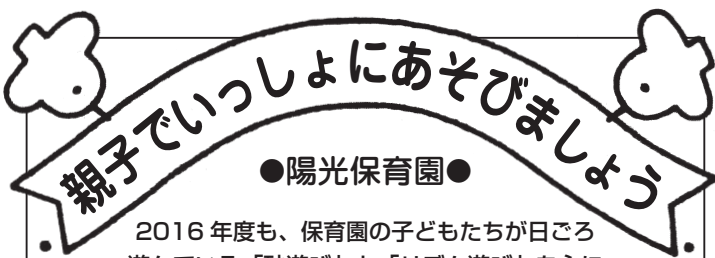
保健所や大学などで発達相談、研究、教育に関わるかたわら、地元愛知を中心に、保育、学童保育、障害児施策などの充実を求める運動やネットワークづくりにも尽力。元日本福祉大学教授、現在あいこ障害者センター理事長。著書に『育てにくいと感じたら一親・保育者のための子育て応援BOOK』（ひとなる書房）、『自分を好きになる力—豊かな発達保障をめざして』（クリエイツかもがわ）他多数。

●保育園は楽しい居場所

笑いもたくさんあり、楽しく学ぶことができました。そのなかで印象に残った事例を二つ紹介したいと思います。

事例1…2歳児のときはちゃんと2歳児の部屋に入っていたのに、進級したら新しい部屋に入ろうとしない子ども。

その子どもは、今までと違う部屋なので自分の居場所ではないかと思いがちですが、自分も2歳児ではないからと、もとの部屋には戻らない。そんなとき保育士は、「自分でいろいろ試して安心したら戻れるよ」と信じてみる。「子どもの不器用さをかわいい」と思えることが大切です。「自分の居場所はここ」と子ども自身が感じられるような声かけや、時には見守ることも大切にながら保育していきたいと感じました。



●陽光保育園●

2016年度も、保育園の子どもたちが日ごろ遊んでいる「砂遊び」と「リズム遊び」を主に計画しました。これまでに参加されたみなさまからも「家庭ではできないことができてよかった」「とても楽しかった」など、たくさんの感想をいただいています。公園ではできない遊びが体験できますよ。親子で気軽に遊びにきてください。無料です。

場所 陽光保育園(板橋区大谷口上町23-1) ☎3956-1068

時間 午前9時30分～11時(赤ちゃんは10時30分まで)

対象 0歳児～就学前のお子さんと保護者

- *参加ご希望の方は実施予定日の3日前までに電話ください。
- *動きやすい服装で、タオルと着替えをご持参ください。
- *お天気により内容を変更する場合があります。
- *0歳のお子さんは、室内にて、赤ちゃん体操・あやし遊びなどでゆったり過ごします。

2016年度◆年間予定

7月12日(火) 終了	8月09日(火)	9月20日(火)
10月26日(水)	11月15日(火)	12月20日(火)
1月17日(火)	2月21日(火)	3月7日(火)

*9月は看護師が「健康」の相談、11月は栄養士が「食」の相談をうけるほか、10月は焼き芋大会を予定しています。



生き物も恐竜も化石も……?!

娘の輩は種類を問わず生き物が大好きです。我が家では魚やヤドカリ、インゲンチャクなどの水中生物を飼育していますが、本来水の中に潜らないと観察できない生き物を、いつでも眺めることができる水槽に輩は興味津々のようです。

「昨日ヤドちゃん(ヤドカリ)がうしてたんだよ」などと嬉々として報告してくれるので、私も娘のために(建前)、日々水槽の生き物を増やしたり、輩と一緒にアクアリウムショップに足しげく通っています。

ショップでは見たことのない魚やサンゴがいたりするのですが、「これは〇だね」と、店員さんも驚くような知識を持っていたりして、「なぜ知ってるの?」と聞けば、「図鑑を見た」と。

聞けば寝る前に図鑑をよく読んでいたようで、なるほどこれは期待できるぞ! (何が?)とうれしく思っていました。

休日、家族で出かけるころといえは、磯遊びや釣り、特に多いのが水族館。

お母さんはあまり興味がないようで、ぼさっと歩いているのを横目に、「私と輩はまるで趣味つながりの友だち。マニアックな話をしながら歩き回っています。」

ある日「今日はどこに行こうか?」と聞くと、「あのね、恐竜博やってるって!」と。「お父さん、恐竜だけは好きじゃないんだよ。だってもう死んじゃってるんだよ? 骨だよ?」と言っても、それでも「行きたい!」と言ったので、それならばと二人で行って来ました。

会場での私は普段の妻の態度と一緒にいたのは言うまでもありません。大変混んでいましたが、輩はそれなりに満足したようでした。

先日、「ご飯を食べながら」と「将来はどんな仕事をしたい?」と聞くと、「化石掘る人!」

化石がよ……!

(板橋区在住) 久保田 岳

のびのび体操 1・2・3

赤ちゃんからリズムへ

東京・陽光保育園 小内 康寛

第2回 いろいろなマッサージの方法

赤ちゃん体操での具体的な手技(やり方)は、マッサージと、反射運動、発達に則した運動をうながすことです。

マッサージにも、いろいろなやり方があります。なでなで、ごしごし、つんつん、もみもみ、ペタペタ、くりくり。これ、みんなマッサージなのです。(図下)



マッサージはフランス語で、語源はアラビア語の「押す」、ギリシャ語の「こねる」、ヘブライ語の「さする」からきています。日本語の按摩も同様な意味で、按は押す、押さえる、摩はなでるから

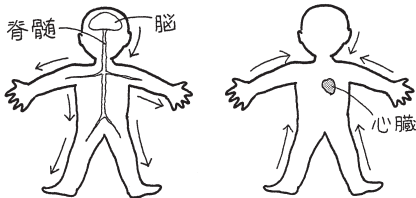
きています。多種多様なマッサージですが、大まかにいうと、東洋的なやり方と西洋的なやり方の2通りあります。(図下)

東洋的なやり方

主に神経に働きかける脳、脊髄を中心におく、中心から外側へ(皮膚の表面)

西洋的なやり方

主に筋肉、血液に働きかける、心臓を中心におく、心臓に向かって(筋肉の中)



ちょっと肌に触るだけでも、マッサージなのです。ぜひ、おためしください。

*『新婦人しんぶん』2000年5月5日号掲載



会場の陽光保育園ホールは、保護者や保育者でいっぱい。講演後の質疑応答も熱のこもったものに

「ありがとう」は、存在を認めること

事例2…給食のときにお友だちのものでも目の前にあったら食べてしまい、お友だちから「キレイ」と言われてしまう子。

食べられてしまった子も、「キレイ」と言われた子も嫌な気持ちになってしまってもそんなとき、友だちのものを食べてしまいう前に大人がその子にお茶を入れる当番を頼み、やっってもらうことにし、「ありがとう」

戦火から免れても……

名川 絹子



板橋・金井町の我が家が燃えたのは、1945(昭和20)年4月13日の夜だった。夕方近く金井窪方面から薄い煙がただよってきた。これは危ないと、両親、姉、私、弟の5人はあわただしく家をあとにした。私は、玄関に置いてあった茶碗が入ったバスケットと、ほとんど空の布製のリュックを背負い歩きだした。父は、母が夕食用に炊いていた炒り豆入りのご飯のお釜を大風呂敷に包み、かついでいた。

川越街道を越え田崎病院の前を通り、日大病院を右手に見て、大谷口の整肢療護園の土手まで歩いた。そこは一段高く、周囲が見渡せた。「今夜は危ないだろう」と父。何時になっていたかわからないが、右手のほうから赤々と火の手が上がっていた。「あれは大山あたりだね。うちもだめだろう」。心配しながら火の手を見つめ、一睡もできないままみんなでその場にたたずんでいた。

夜が明けて帰ってみると、大山駅の周辺は一部を残して焼け野原だった。我が家も全焼!! ああ、何もなくなったのだと、呆然と立ち尽くした。焼け跡はまだブスブスと煙っていた。

父が小さい金庫を見つけ、木切れで把っ手を持ち上げると、隅から銀色の汁がタラタラと流れ落ちた。廊下のガラス戸のガラスが、ガラス戸の並びのまま庭に落ち、小さなガラスの山をつくって並んでいた。焼けはしたものの家族全員元気だし、二つあった防空壕のうちひとつは焼け残った。その中には、母や私たち姉妹の着物などが入っていて、後に野菜などを買い出しにいくときの交換物として役立った。

そのうちに隣のおばさんも帰ってきたが、送るばかりになっていた疎開用の荷物も家ごといっしょに焼けてしまっていた。ご主人は出征していて、さぞ心細かったことと思う。バスケットの茶碗を出し、父がかついでいた豆ご飯を家族と隣のおばさんと、朝ご飯に食べた。

その後、焼け残った知り合いの家に泊めていただき、器用な父が、焼け跡に焼けたトタン、焼け棒杭を集めて壕舎をつくり、戦後の1952(昭和27)年に家を建てるまでそこで暮らした。

姉は、1947(昭和22)年、勤め先からの帰途、満員の都電から振り落とされた。都電は物資不足で扉がなかった。後頭部陥没で、姉は22歳の若さで亡くなった。姉も、戦争の犠牲者だった。

(板橋区在住/88歳)